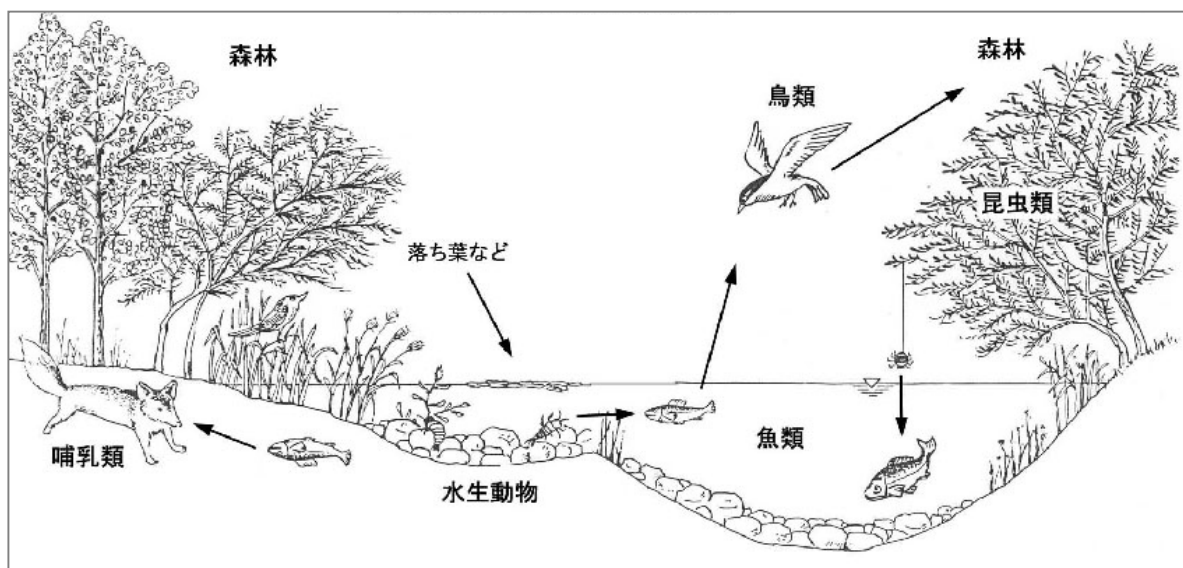


動物の保全対策の検討（案）

(1) 多様な森林環境の再生・復元による保全

- ・動物の生息にとって良好な生息環境の保全を図っていくために、多様な森林環境を再生・復元し、生息環境の質を高めていく。
- ・基本的には、半栽培的な方法によって保全していくこととする。

【参考】水辺・森林空間における動物の生息環境の保全イメージ



(出典：「河畔林のはたらきとつくり方」北海道立林業試験場)

※ 半栽培とは

基本的に、植物本来の特徴を活かしながら、自然の生育を人が手助けする方法で、維持管理としては、巡回の際に必要な応じて、育成管理の対象とする植物の周囲の刈払い・枝おろし・下草刈り等、増殖方法としては地表の確保・株分けなどがあげられる。

(2) 口承文芸や伝統舞踊等の継承による保全

- ・アイヌの生活と深い関わりにあった動物は、食だけに重要とされていたのではなく、神として崇められたり、生活の知恵を教え伝える口承文芸の中で、現代もなお語りつがれている。
- ・また、その生態が地名に反映したり、物語や歌に登場したり、踊りに表現されたりすることから、鳥類や動物とアイヌ文化とのつながりを伝える口承文芸や伝統舞踊の継承に一層取り組んでいく。

生物が登場する口承文芸の例

動物名(通称名)	アイヌ語名	題名	ジャンル
わし	カパッチリ	ルルパの少年 【おじろ鷺が作中に登場】	ウウエペケレ ウパツクマ
くま	キムンカムイ	モユク キムンカムイ (ムジナとクマ)	カムイユカラ
		白い熊神が自ら語った話	
		四つ爪のクマ	ウウエペケレ ウパツクマ
		イコンヌ ペウレプ(人を呪った子グマ)	カムイユカラ
ふくろう	コタンコロカムイ・コタンコロチカフ	国造りの神とフクロウ	ウウエペケレ ウパツクマ
		オキクルミ シチカフ(オキクルミとフクロウ神)	カムイユカラ
さけ	シペ・カムイチエフ	オキクルミ トウレシヒ (大空に描いたコタン)	カムイユカラ
		月の中の童子	ウウエペケレ ウパツクマ
しか	ユク	シカを妻にした男	ウウエペケレ ウパツクマ
		イウ和コロカムイ オキクルミ(狩場を司る神とオキクルミ)	カムイユカラ

カムイユカラ = 神謡 : 神が自らのことを語る話

ユカラ = 英雄叙事詩 : 誰かが聞かせてくれた長い長い物語、それを真似て次に誰かに聞かせる

ウウエペケレ = 昔話 : 物語(を言う)。伝説・おとぎ話を等

ウパツクマ = 言い伝え : 古い話を聞かせる

(出典：平取町調査班 2008年 調査報告書 PⅡ-1-14~PⅡ-1-22 より一部抜粋)

○口承文芸の継承を通じて、アイヌ文化とつながりの深い動物の保全を図っていくためには、次のような取り組みが考えられる。

① 動物に関する口承文芸を集めた冊子の作成

- ・普及啓発と人材育成が期待される
- ・現在、平取町内でアイヌ文化伝承のために活動されている団体へ配布
- ・既存の平取町立二風谷アイヌ文化博物館で行われている体験学習や、学校教育の生涯学習のプログラムで発表の場を作る仕組みづくり

<平取町において実践された舞踊や口承文芸に関する研修の事例>



<現在、類似的な活動が行われている事例>

○平取町立二風谷アイヌ文化博物館 体験学習メニュー

- ・講話
- ・舞踊
- ・ムックリ演奏
- ・木彫・刺繍体験

② 保育園児や小学生を対象とした絵本の作成

- ・小さいうちからアイヌ文化や動物への理解を深めることが期待される
- ・平取町内の教育施設へ配布
- ・平取町内で絵本の読み聞かせ等を行っているサークルへ配布

<現在、類似的な活動が行われている事例>

○ふれあいサークル（平取町）：町内の小学校などへの読み聞かせ